

## 第4回 異業種交流 シンポジウム

情報IT部会（関西）

■ 日時 2003年2月 15日（土）

■ 場所 大阪化学繊維会館

久方ぶりに第4回異業種交流セミナーを2月15日（土）大阪化学繊維会館で行ないました。その内容について今回コーディネーターを務めました私が報告いたします。テーマを『次世代と2つのソウゾウ(想像、創造)』と題し、今だ不透明な不況・不確定な時代に、一体どのような発想でビジネスを進めているのかを若い世代のパネラーからお話を聴き、同世代の人達は刺激を、年配の人達は老いては子に従えの喩えのように、新たな発想や活力を得る事を目的にセミナーを企画いたしました。

パネラーはアメリカで約10年ほど前から話題になっているダグラス・クープランドの著書『ジェネレーションX』に登場する新しい世代と言われるX世代（日本では団塊ジュニア世代以下）の人達で、ほとんど企業勤めの経験のない、若くして独立独歩の道を行く起業家の人達に集まって頂きました。水野祐一郎（昭和49年生）さんはグラフィックデザイン、アーキテクチャー、インテリアデザイン、ビジュアルデザイン（WEBサイト）など、各々違う分野の仕事をする異能集団「デンバク・ファブ・ユナイテッド」のリーダーであり、ご自身は映像デザイナーです。そして急速仲間の1人、アーキテクトの早川大祐さんにも出席していただきました。又私事ですが、デンバクグループの人達は、仕事のパートナーでもあります。立亀長三研究所の立亀茂貴（昭和46年生）さんはレディースのファッションデザイナーであると同時に、様々なクライアントのプランナーとして八面六臂の活躍をされています。特に専門商社のOEM（製品受注業務）分野で、単に製品受注を「待ちの体制」で受けるのではなく、プレゼンテーションからプロモーションに至る

までの新しいOMEスタイルをプロデュースされ話題になっています。ディゼットケイ・アーキテクトの都築滋雄（昭和45年生）さんは、少し企業勤めの経験はありますが、最近独立し個人住宅を中心に仕事を始められました。そしてTDAの若手を代表してルーリオ・エルピー・カンパニーの近藤仁史（昭和45年生）さんにも出席して頂きました。

セミナーは3時間の長丁場なので、それぞれ自己紹介を兼ね、仕事の内容を解りやすく説明するためにデジタル・スライドを作って頂き、それに沿ってセミナーを進めて行きました。今回のセミナーと同様に、今や仕事のハードウェアのツールとして、マックのノートパソコンは欠かせず、いかにその内容（ソフト）の充実（プレゼンテーション）が重要であるかと言う認識は、パネラーの共通した考え方でした。又、クライアントやビジネスフィの大小に関わらず絶えず全力投球を行い最高のモノを提案する事が仕事の自信に繋がると言う発言（水野さん）は共感を呼びました。又彼の現在最も大きな仕事は、世界のタイヤメーカー／ブリジストンのテレコム・マーシャルのコンペに参加している事ですが、たった1～2秒の映像創りに対する制作過程の熱き思いの語りもまた、ひしひしと伝わってきました。さらに彼はセミナーの冒頭で「仕事はまずビジネス・イマジネーション（想像）をしっかり組み立て、それに伴ってモノをクリエイション（創造）する事が大事。」だと話していた事も非常に印象的でした。又近藤さんは自身の会社の特色として、「花」だけを描きそれ以外のモノはしない。またただ単に図案を描いて幾らの仕事ではなく、染色工程における機械メーカーとの接触の重要性、そして最終製品（入り口から出口）になるまでのプロセスの把握の大切さなど、自らの理念や会社のスタイルを、京都弁のやんわりとした口調で話をされ、その人となり垣間見た気がします。又実際、筆一本で水彩画の花を描く所をビデオに収め、そのアナログで描いたモノをデジタル処理する事により、新しいモノが生まれると言った説明も納得しました。この他関東（仕事の質優先）と関西（お金優先）の仕事に対する考え方の違いや、インターネットの時代になって仕事は何処でも（大阪、東京、海外他）出来るが、やはり仕事は一人で成立するのではなく、ネットワークでしている限り、コミュニケーションの場が必要と言った事も各々パネラーの共通意識でした。

今回のセミナーは結論を求めるよりも、各々の人がどのようなキャラクターの持ち主で、どのような仕事の仕方をしているかを知る事もセミナー目的の一つでしたが大きな共通点がありました。それは、人任せではなく自らが仕組み（ビジネスプロジェクト／分業化を統業化）を創る。そして、今流で言えば『プロジェクトX』のようなチームワークを大切にしている事です。今業界の灯は明るくありませんが、これからの時代、やはり確固たる信念（パーソナル・アイデンティティ）を持ち、その個性を活かし、ネットワークビジネスをする、その様な事を感じたセミナーでした。3時間という長い時間でしたが、セミナー後もパネラーの人たちを囲みネットワーク懇親会を行ないました。パネラーや参加者の方々ありがとうございました。

（レポート 岡本 正大）



◀ 左から  
パネラーの近藤仁史氏（TDA）、  
都築茂雄氏

企画からコーディネーターまで、  
全てをやっていた  
岡本正大氏（TDA）



左からパネラーの立亀茂貴氏、早川大祐氏、水野祐一郎氏



スライドによる提案を基に議論が展開